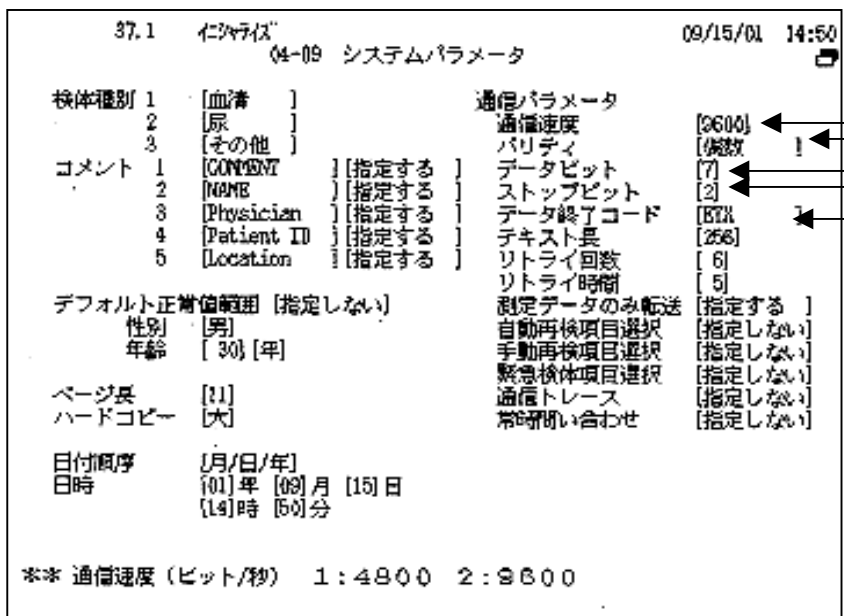
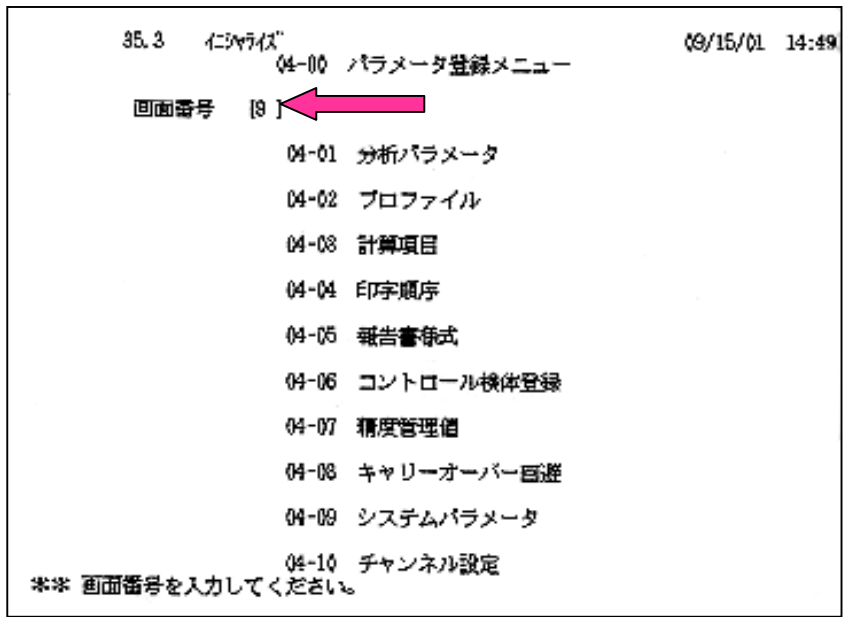


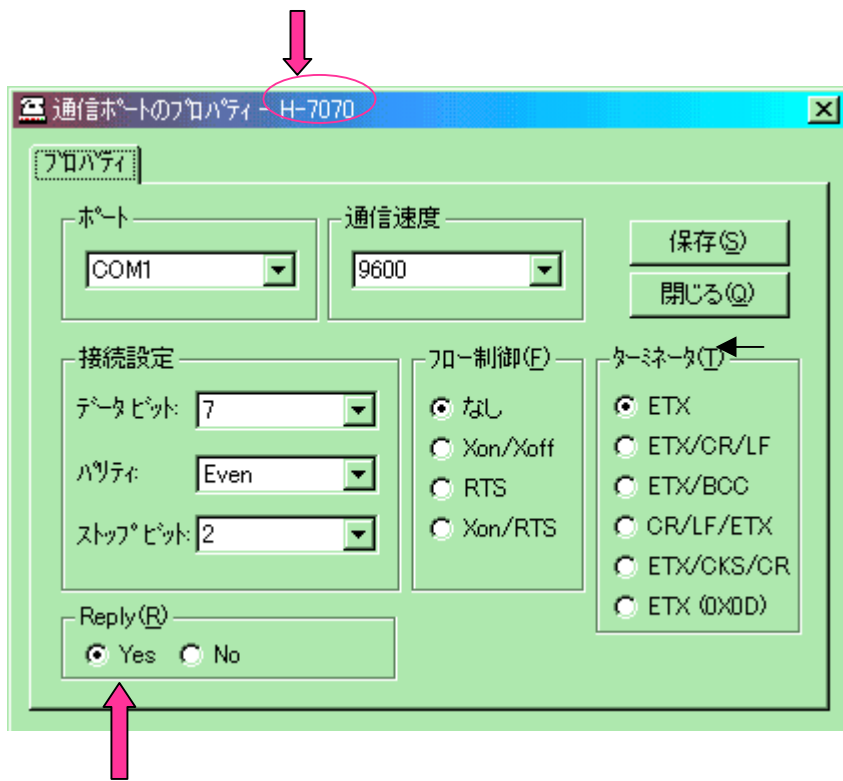
1. クライアント通信設定方法



# パラメータ登録メニュー

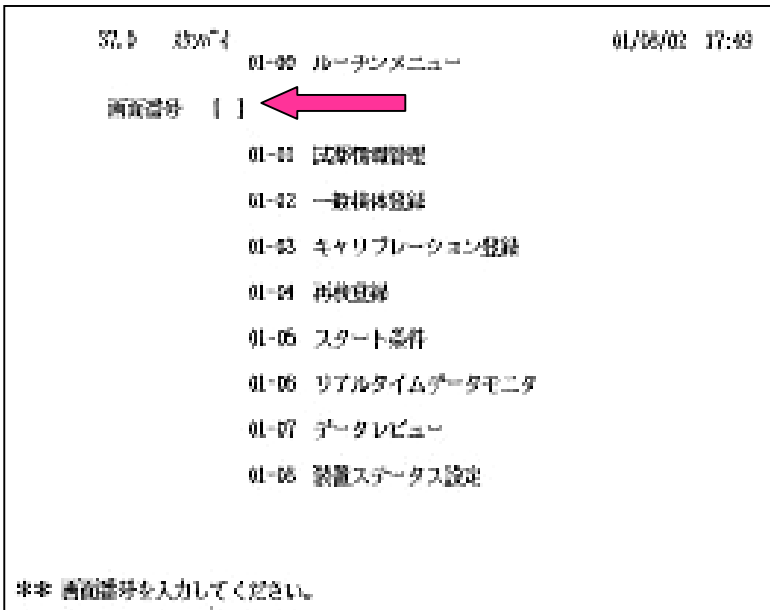
システムパラメータを開く (9.Enter)

分析機毎にクライアントの通信設定を行う (別紙:クライアント設定取説参照)



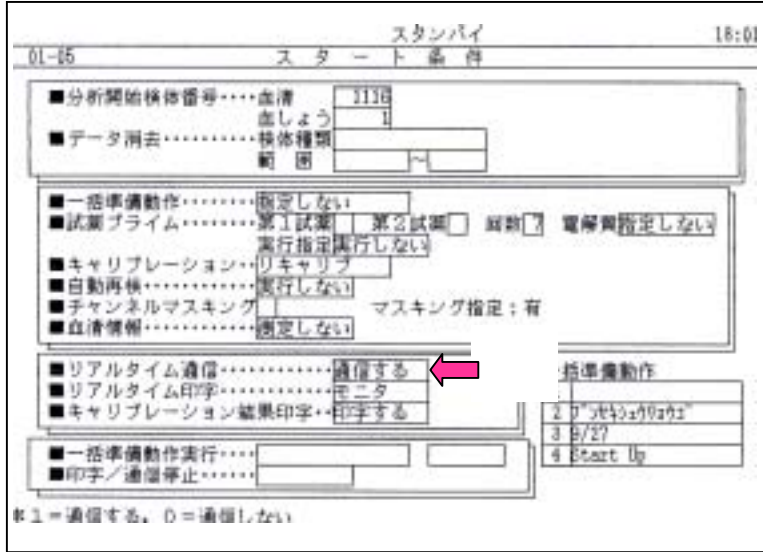
Replyは、どちらでも可

2. コントロールデータ転送方法



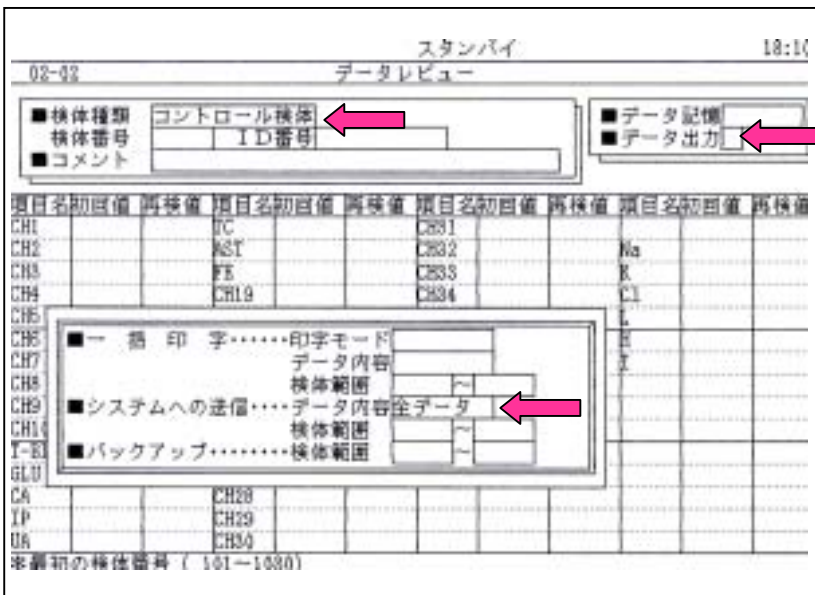
ルーチンメニュー

スタート条件 (5.Enter)



リアルタイム通信を「通信する」にする (1.Enter)

2. コントロールデータ転送方法



### データモニタメニュー

#### データレビュー

クライアントを取り込める状態にする  
(別紙: クライアント設定取説参照)

切替機をQCLinx側に切り替える

検体種類(コントロール検体)を選択

データ出力でガードンスキーを押す

システムへの送信(全データ)を選択

検体範囲でコントロール検体の開始・終了番号を入力する

例:  ~

(1~3までのデータを送信する場合)



データ転送が成功するとこの部分に緑色のデータが表示される

3. 使用コントロール名の確認



パラメータ登録メニュー

精度管理メニュー

日内精度管理データ一覧

(コントロール名が確認出来ます)

クライアント設定画面



(別紙: クライアント設定取説参照)